

## たばやま複業協同組合

山梨県内には全部過疎、一部過疎など人口急減地域に指定される市町村が16地区あり、これら地域における事業者が抱える共通の課題は人手の確保です。

令和2年6月に施行された人口急減地域特定地域づくり推進法により創設された「特定地域づくり事業協同組合制度」は、協同組合法に基づく事業協同組合が安定的な雇用環境と給与水準を確保した職場を作り出し、地域内外の若者等呼び込み、当該地域の事業者の事業継続・拡大を推進する仕組みとして注目を集め、現在全国で99組合(令和6年4月1日現在)が活動をしています。

今年の4月3日(もしかしたら記念すべき100組合目?)、山梨県内では2件目となる、特定地域づくり事業協同組合「たばやま複業協同組合」(組合員8名、白木孝郎理事長)が設立されました。

組合のある丹波山村の人口は令和6年4月現在507人、「関東で一番小さな村」の産業は観光を中心とするサービス業が多く(村内総生産の約8割相当)、就労人口も全体の7割を超えます。

一方、村民の65歳以上の高齢者は人口の約半数に迫っており、これ以上の人口減少は地域社会の維持を困難にする大きな要因とされ、村は主体的に村内事業者に働きかけを行い、農業、素材生産業、宿泊施設、レストラン、通信販売業等を組合員とする協同組合の設立に至りました。

組合では特定地域づくり事業として人材の確保と提供に取り組むほか、組合員の取扱う商品やサービスの市場開拓・販売を行っていきます。

丹波山村は、かねてより地域おこし協力隊制度を活用し地域振興に取り組んで来ました。協力隊の任期満了後も村に留まり就職や起業をする方もおり、移住・定住が進んでいます。「住まいの確保も同時に考える必要があるが、協同組合の設立によりさらに移住者・定住者が安定的に働くことのできる環境を提供することができる。」と村担当者、組合員は期待をしています。

丹波山村は日本百名山に数えられる雲取山をはじめ、飛龍山、大菩薩嶺など秩父多摩甲斐国立公園に指定される山々に囲まれ、トレッキングや溪流釣りの人気スポットも多くある「豊かな大自然」が魅力の村です。農村ならではの住民同士のふれあいや共助する「人と人を結ぶ絆」を大切にするとともに良いところです。

是非一度訪れてみてください。



マイナスイオンたっぷり  
豊かな自然が魅力の丹波山村

豊かな自然の中で働いていきますか？



担当：堀内

たばやま複業協同組合(一般社団法人たばやま観光推進機構内)  
北都留郡丹波山村 892 番地 ☎0428-88-0678